



のびるたけの子

7月号

令和元年 5月31日

学校教育目標

【知】自ら進んで課題や問題に取り組み、積極的に学び続ける子を育てます。
 【徳】友達のよさを認め、自他を尊重できる子を育てます。
 【体】健康やかな心と体を育み、自他の生命や健康を大切にする子を育てます。
 【公開】社会の一員としてお互いに助け合い、社会のために行動する子を育てます。
 人とコミュニケーションを通して、社会への視野を広げ、共に生きる心を育てます。

「様々な体験を通して」

副校長 杉山 波也

中庭では、1年生がアサガオを、2年生がミニトマト、ナスなどの野菜を育てています。植えたときから毎日、2階から下の様子を見ているのですが、植物の成長の早さに本当に驚きます。また、自分の鉢植えに水をあげたり、観察したりしている子どもたちの表情は、そのような成長を楽しんでいるからか、とても笑顔でうれしそうに見えます。これからたくさん花が咲いたり、野菜が大きくなったりしたとき、子どもたちの表情はどのようになるのか、今から楽しみです。

6月27日(木)28日(金)、5年生と一緒に愛川宿泊体験学習に行ってきました。出発前は天気が心配でしたが、雨が降り続くことはなく、2日間、予定通り、全ての活動を行うことができました。1日目の午前中は、あいかわ公園工芸工房村にて、藍染や紙漉き、機織り、竹細工の体験活動を行いました。



どの子もやり方をよく聞いて、楽しみながらも真剣な表情で取り組んでいました。午後は、愛川ふれあいの村に到着し、写真オリエンテーリングやキャンプファイヤーなどを行いました。キャンプファイヤーでは音響の不具合があり、マイクなどが使えない状況となりましたが、子どもたちは大きな声で話したり、歌ったりと、自分たちの力で状況を乗り越え、盛り上げていました。みんなと協力し、楽しい時間にしようとしていた姿がとても素晴らしかったです。2日目は、午前中に、宮ヶ瀬ダムの放流を見学しました。高いところからの放流や大量に水が流れてくる様子に驚き、最後まで熱心に見ていました。その後、相模川ふれあい科学館を見学してから、学校に帰ってきました。「和輪笑〜3つの輪でLet's 5愛川〜」というスローガンのもと、子ども一人ひとりが思い出に残る2日間を過ごすことができましたようです。この宿泊体験学習で身につけた力を今後の学校生活でも生かしていけることを期待しています。



4月に着任してから3か月が経ちました。毎日様々な方々とのかかわりを通して、勝田小は、保護者・地域の皆様の温かいお気持ちに支えられていることをとても強く感じています。常に子どもたちの視点に立ち、子どもたちの安心・安全のためにご尽力いただき本当にありがとうございます。これからも子どもたちの健やかな成長を目指し、取り組んでいきますので、今後とも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。